

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム土香里

(ユニット名) 木の果

記入者(管理者)
氏名 久保 早苗

評価完了日 平成 20年 8月 20日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			管理者、職員共に、理念を共有し、日々のケアに繋がっている。		
			(外部評価)		
			理念に、ご近所付き合いを大切にすることを掲げて、実践されている。又、ユニット理念を作成し、さらに月単位で目標を掲げておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			ケアプラン作成時や申し送り時、ミーティングの時にスタッフ全員に確認し、日々のケアに取り組んでいる。		職員が、理念に基づきケアが実践できているかなど定期的に個別に確認の必要がある。
			(外部評価)		
			理念を玄関に掲げ、ユニット理念を共用空間に掲げておられる。		さらに、事業所では職員で意識統一を図り、チームケアに取り組むたいと考えておられる。事業所の目指すことを職員で共有できるよう、体制作りについて再検討が期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議を利用し、理念の発信を行っている。また法人代表が地域住民の一員として常会に出席し、施設の取り組みなどについても理解していただけるよう発信している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時、出勤時など、気軽に近隣の方にあいさつを交わしたり、ご近所から野菜を頂いたり、一緒に食事したりと気軽なおつきあいが出来ている。		職員の顔を覚えていただくためにも、気軽に声をかけていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 土香里通信の配布、また、地域の祭りへの参加をとて楽しみにしており、最近催されたお祭りの飾り付けも入居者、職員がお手伝い、参加させていただいた。 (外部評価) ご近所の方とのお付き合いは日常的に行なわれており、時に訪れ、一緒に食事をされることもある。又、「ほたる祭り」を開催される等、地域の方に喜んでいただけるようなイベントも行われている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近隣の方から、電話や来所にて介護相談をうけることが時々ある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全員で取り組んだ。法人代表、管理者、リーダーは月に一度のリーダー会を持ち、具体的な改善を話し合い、カンファレンスなどにおいても、職員と話し合い統一を図っている。 (外部評価) 評価項目を割り振り、ユニット毎に自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、自己評価を作成時、職員のグループホームへの理解を深めていきたいと感じられた。この一年間、地域との関係作りや外出支援等に、特に力を入れて取り組まれた。		改善したことを、継続し統一していくことが課題である。 さらに、評価結果やご家族のアンケートの集計表等を活用した取り組みが期待される。一つひとつ、ちょっとずつ取り組み、事業所のさらなる質の向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			家族からの率直な意見を職員は聞く事ができる。現在取り組んでいる内容についても活発な意見をいただき、ケアに生かすことができる。		会議に参加する土香里のスタッフがいつも同じメンバーになってきているので、皆が参加できるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			近所の方にも出席いただき、利用者、職員の名前と顔を覚えていただけるよう取り組まれている。又、ご家族と近所の方ともつながりが持てるよう、すすめておられる。会議は、会場を別に借りて行われており、お弁当やコーヒーを飲食しながら、意見が出やすい雰囲気作りで努めておられる。		現在、出席者からの意見は少ないようである。今後、出席者のご意見をうかがいながら具体的な意見交換ができるよう、会議のすすめ方の工夫を重ねていかれてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			相談がある場合は電話や訪問にて問題解決できるよう取り組んでいる。また、市や社協の勉強会にも積極的に参加している。		モデル地域の一員としてサービス向上に今以上努めていきたい。
			(外部評価)		
			市は、現在、認知症地域支援体制構築等推進事業モデル地区に指定されており、活動のアピールに協力をされている。又、県GH協議会主催の研修に、市の職員も参加いただけるよう働きかけておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援して いる	(自己評価)		
			法人代表や管理者は勉強し、理解しており、他施設からの相談にもものっているが、職員は学ぶ機会を持っていない。		職員が学ぶことができるよう権利擁護に関する資料を閲覧できるようにした。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見逃ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			施設内での勉強会の実施、実際の現場にてリーダーよりスタッフへ対応するようにしている。		個々の職員が、毎日の介護のなかで、知らず知らずのうちに行っている行動について、自分で自覚し、反省する機会を勉強会などに参加し見つめていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明には十分に時間をとっているが、特筆すべき事項以外は書面を読み上げるだけになっている。家族側の不安点、疑問点については、納得できるまで施設見学していただき、そのときに話し合っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 何気ない会話の中で、利用者の思いを察する努力をしている。利用者、家族からの不満、意見がある場合は直ぐに話し合っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月、利用者の暮らしぶりなどを手紙に書き、利用料請求時に同封している。運営推進会議にて、移動などについては報告している。		家族によって、連絡してもらいたい体調異変の程度が異なる（施設から電話がかかると不安になる）ため、個別にきめ細やかな取り決めが必要である。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で、ご本人の様子を伝えておられる。又、事業所たよりを作成して、ご家族に送っておられる。		ご家族の知りたい情報を定期的に知ることができるような報告の工夫も期待される。又、運営推進会議の取り組みの経過や職員のケアの取り組み等、事業所で特に力を入れていること等についても、ご家族に報告されてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族には、月末のお手紙や、訪問時や運営推進会議で問いかけ、家族とのなじみの関係を大事にし、何でも言っただけのような雰囲気づくりを行っている。出された意見や要望は運営に反映する努力をしている。		
			(外部評価) ご家族からの意見は、直接口頭で聞き取ることが多い。法人代表者は、ご家族からのご意見を受けた場合、職員に必ず伝え、改善に向けて話し合うようにされている。この度、ご家族から職員のケアについてご意見をいただき、改善と質の向上に向けて、勉強会を行うこととされた。		さらに、ご家族同士が交流したり、意見交換等を行う機会作り等も期待される。ご家族の意見がさらに出しやすくなるような仕組み作りが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			月に一度、カンファレンスを行い、意見を聞くようにしている。また、法人代表、管理者とともにユニット間を行き来しコミュニケーション不足の解消に努めている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせ、勤務時間の調整を行っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			退職者が出た以外は、移動の無いようにしている。また、受け持ち制にしており、担当職員の移動も控えている。		
			(外部評価)		
			新人の職員は、ユニットのリーダー職員に付いて学んでおられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			法人代表が、愛媛県グループホーム協議会の役員となり、研修会への参加を積極的に職員へ促している。		職員がまんべんなく研修に参加でき、スキルアップができるよう取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			職員の自己評価を実施し、職員個々が自分のケアについて振り返られた。事業所内の勉強会は月に1回以上開催し、外部の講師を招き、お話いただくこともある。又、外部研修にも出席して学んでおられる。		さらに、今後、事業所では事例検討を通じて、職員で活発に意見交換を行い、職員のケアについての意識統一を図りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			職員がグループホーム間の相互評価にも積極的に参加している。		
			(外部評価)		
		法人代表者は、県GH協議会の役員をされており、他事業所と交流されている。又、職員も外部研修等に出席し、他事業所とともに学んでおられる。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			法人代表が職員同様の勤務に就き、精神負担の大きい仕事内容を把握し、職員と共に検討し改善に努めている。		休憩時間を設けているものの、完全に勤務から外れることのできる休憩時間の確保ができていない。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			法人代表が職員同様の勤務に就き、勤務に関する提案を職員共に検討し、まずは実行するよう心がけ、それぞれの職員の意見を尊重している。職員の資格取得にも積極的に支援している。		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			相談を受けた際には、利用前に本人と面談し、生活状況のアセスメントや思いに向き合い、信頼関係を築けるよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前にホームに何度か足を運んでいただき、不安材料を取り除くためのケアの仕方、また、家族が望んでいる事に少しでも近づけるようなホームでの過ごし方を検討している。		ホーム側だけでなく、もう少し、家族の協力を得て、一緒に利用者の方を支援したい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に利用されている他の事業所、関係機関に連絡、連携をとり、対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用開始の前に、家族だけでなく、ご本人にもホームに来ていただき、食事を一緒に食べていただいたり、他の利用者とお話されたりと、少しの間過ごしていただき、馴染める環境作りを心がけている。 (外部評価) ご家族、ご本人に事業所に見学に来ていただき、雰囲気味わっていただいている。山や川があり、事業所内が明るいことを気に入り、入居に至ることが多い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔の歌は、ほとんど利用者から教わり歌えるようになった。野菜の育て方など畑に行き、教わりながら楽しんで共に過ごしている。 (外部評価) 山菜のあく抜きを教えていただいたり、よもぎまんじゅうの作り方を教えていただくこともある。職員は、利用者が入院し、その後、退院して事業所に戻ってきた時に、覚えていてくれたことに深く感動されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 支援内容について、家族の方にも一緒になり、考えていただき、良い方向に支援するように導いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 聞き取り調査により、家族関係を理解し、お互いの関係をよりよく保てるよう努力している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 昔良く行った飲食店にお連れして、懐かしい場所や人との関係を保つようにしている。		職員だけではなく、家族も共に、そのような場所や人との関係を持つことができるようにしたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 居室間の行き来の自由、リビングとは別に椅子を設ける事により、ちょっとした話を空間においてできるよう対応している。		食べ物の趣味や買い物の趣味に合わせた、少人数による個別外出を取り入れている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 以前利用されていた方には、イベントなどの案内状を送付している。現利用者の受診や入院のお見舞いの時、以前利用されていた方の病室を訪れたりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			好きな時間に好きな過ごし方をして頂き、強制はしていない。		畑仕事などの趣味の充実を図っていきたい。
			(外部評価)		
			利用者とかかわりながら、ご本人の意向の把握に努めておられる。		日々の利用者とかかわりの中から、ご本人の暮らし方の希望や意向を探り、得た情報を蓄積して、ご本人の思いのさらなる把握に努められてはどうだろうか。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			聞き取り調査に基づき、これまでの生活環境にほぼ近づけるように努力している。		好きな事、趣味などを本人からお聞きして、生活にもう少し取り入れたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			経過記録にて、その人の生活状況が把握できるようにしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			毎日の経過記録にケアプランのチェックを行い、それに基づき、介護計画を立て、本人の意志、家族の意向を取り入れ介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			担当職員がご本人やご家族の希望を聞き取り、カンファレンスで職員で話し合い、介護計画を作成しておられる。		その人らしさがうかがえるような計画作成も期待される。さらに、ご家族とも相談しながら、利用者個々の生活の質向上が出来るような計画を作成できるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			三ヶ月ごとにケアプランの見直しを行っており、その都度、本人、家族にもご意見、希望を聞きプランに反映させている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の見直しと、状態変化時には随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護記録は、個別に記入している。受診の状況、特記事項などは、情報共有できるよう、閲覧サインを入れるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に応じて、受診時の送迎などの支援は柔軟に対応し、個別ニーズの要望に答えられるように努力している。		
			(外部評価)		
			病院の受診時、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の小学校や、趣味のサークルの方などにボランティアをお願いし、交流を図っている。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	家族、本人の希望で在宅に移行される予定の利用者の方がスムーズに在宅サービスを利用できるよう居宅事業所のケアマネジャーと連携をとり、外泊中に在宅サービスを利用したのち退居された。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ケースが無い。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医を受診している。退院後、身体的な重度化に対応するため、24時間対応できる訪問診療医と連携をとり、迅速な医療を受けることができるよう支援をしている。		
44		(外部評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 日常の行動など治療に必要な情報を提供し、診断に基づき介護にも利用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員にその都度、相談し対応している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 緊急時及び入院した場合、10日前程度のバイタル及び健康状態の情報提供をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 今までにターミナルで見送った例においては、主治医と家族と法人代表を含む職員によって、連絡を取り合い、方針を定めることが出来た。 (外部評価) 運営推進会議時に、事業所での看取りの指針について説明をされた。話し合いが必要な場合には、職員が集まり、今後の対応について相談するようになっていく。		事業所ではどのような支援ができるのか、ご家族の協力、医療機関との連携体制等、ご家族も気になることでもあり、早い段階から繰り返し話し合いを行われることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族の希望があり、重度化に対応できるよう訪問診療の体制をとり、今後の変化に備えた。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 話し合い、情報を出来るだけ伝え、移行できるよう対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			個々にあわせた声掛けをし、プライバシーを守るように努めている。		
			(外部評価)		
			入居時にご本人の呼び方を聞き、そのように対応されている。時に、職員の話し声や対応に「個々の尊重」という点から気になる場面が見受けられた。		法人代表者は、利用者にやさしく対応することを大切に考えておられる。さりげないケアの実践から、利用者個々の意欲向上につなげていかれることが期待される。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者のペースに合わせ、説明させていただき、柔軟な支援をしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			職員が忙しい時には、後回しになってしまう時もあるように思える点もある。共同生活ではあるが、一人ひとりのペースを大事にして、援助している。		ユニット間の連携を図り、更なる柔軟性を身につけたい。
			(外部評価)		
			昼食後に居室で休まれる方や、玄関先の縁台で職員とおしゃべりを楽しんでおられる方もうかがえた。		さらに、職員は、ご本人の自信や意欲を引き出すようなかわり方の工夫を、されてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月に一度、訪問による理容師の散髪を行っている。施設側の無料サービスとしているため、そのサービスを理容したい家族の意向が多い。本人や家族の意向をお聞きし、長さ、デザインなどを決めている。希望があればヘアカラーも行う。		本人が希望される理美容室があれば、随時対応したい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや後片付けなど一緒に行っている。四季にあわせた献立を栄養士が作り、行事の際などにもその時々にあった料理作りを行っている。おやつ作りも一緒に行うようにしている。 (外部評価) 職員は、食事作りの際、利用者の状態に合わせて食材をやわらかくされたり、切ったりされており、薄味等にも気を付けておられる。		時に、ご家族も一緒に食事する機会を作ってみてはどうだろうか。具体的なご意見やアイデアをいただきながら、さらに食事支援についても質を高められてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好を把握し、お出ししている。医師より禁止されている物については、代替えできるもの、ノンアルコールビールなどで対応している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを知り、トイレ誘導し、援助している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日、入浴の準備をし、個々の体調や希望に沿った入浴の支援をさせていただいている。		
			(外部評価)		
			ラジオを聞きながら、入浴を楽しまれる方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中はリビングにて活動されるが、各自の居室で休んだりできるように支援している。夜間の不眠時にはリビングにて、職員と談話したりなど、ゆったりとした時間を持ち休息がとれるよう対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			料理の下ごしらえや洗濯などの家事、かるたや折り紙、塗り絵、歌など張りのある生活作りの支援を行っている。一週間に一度はドライブなど、外出し気分転換を図っている。		
			(外部評価)		
			庭の草引きをされたり、洗濯物たたみ等もされている。又、お手紙を書かれたり、新聞の投稿欄に出す原稿を作っておられる方もうかがえた。又、ご家族のために、般若心経をあげることを日課にされている方もうかがえた。		さらに、利用者一人ひとりの楽しみ事や張り合いを探ることに努められ、利用者個々が喜びのある日々を過ごせるよう、職員が一丸となって取り組まれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			金銭の管理ができる方には、預かり金の中からお渡しし職員と共に買い物に出掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			日常においては、洗濯物干しのため庭先に出て、その後、庭先で談話したり、散歩を兼ね、近くにおやつを買いに行ったりしている。		
			(外部評価)		
			季節の花を楽しみに出かけられたり、地域行事やドライブ等にもよく出かけておられる。外食に出かけられたり、受診の際に、ご自宅に立ち寄られることもある。		さらに、日常的に庭を活用できるよう工夫を重ね、利用者の生活を広げていかれてはどうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外食では、行きたいお店、食べたいものを聞き、個別に出かけている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			難聴ある方にも出来るだけ、本人と家族が電話で話せるように、取次ぎなどのフォローは職員が行っている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			居室で話されるときも、冷暖房に気をつけ、ゆっくりお話しできるように対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束廃止委員会では、職員が自覚しない身体拘束が行われていないかを検討し、カンファレンスにおいて職員間の理解に取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 帰宅願望のある利用者については、外出しそうな様子を察知したら、可能な限り、一緒に散歩に出かけたり、外出が難しい場合は家族の協力を得て、電話でお話していただくなど、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 (外部評価) ユニット入口にも鍵をかけず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 廊下歩行、トイレ利用、入浴の際も、目を離してしまうことなく注意することを心がけている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 脱衣場の注意物品においては、カーテンをするなど、直接触れないように対応している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 夜間転倒の危険がある方には、居室での動きが分かるよう家族の了承を得て、布団に鈴をつけ、起き上がりを察知できるよう対応し、身体拘束をせず、事故の防止に努めた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救命救急の講習は受けていない。		年内には実施する予定。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、通報訓練、避難訓練を実施している。 (外部評価) 避難訓練実施時には、階段を使った避難の仕方について、消防署の方よりアドバイスをいただいた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりうるリスクについては家族に説明している。自由な活動による高リスクについては、対応策を家族と共に話し合い、検討するようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、バイタル測定を行い、異常の早期発見に努めている。体調変化があった場合は、家族にも連絡を取り、対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個別ファイルに処方箋をファイルしており、副作用などの把握ができるようにしている。		職員一人ひとりが薬の内容について処方箋をみながら把握していくよう努めている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) おやつにヨーグルトを出すなど対応している。便秘については、看護師に相談し、緩下剤の調節を行い対応している。		食べ物などの工夫で自然排便ができるようにしていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、状態や能力に応じ、介助し、口腔内の清潔に努めている。		口腔体操などを用いて、食べる楽しみなどを感じていただけたらいいと思う。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事、水分摂取量の状況を記録に残し、十分な摂取ができていないか注意し対応している。治療食が必要な方に対しては、栄養士が、同じメニューで、量を少なく感じさせない盛りつけを職員に指導している。 (外部評価) 栄養士資格を有する職員が献立を立てておられる。毎日の食事メニューを共用空間に掲示されている。職員は、食事時にお茶のお代わりを促しておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 地域の感染症発生状況の情報収集に努めている。日常でペーパータオルを使用し、毎日の掃除はアルコールを使用している。他施設で感染の情報があれば、早急に感染対策マニュアルをリビングに貼るようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板などはハイターで消毒を行い、食器乾燥機で高温乾燥を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入口は鍵をかけず、自由に出入りできるようにしている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) その季節の風景などカレンダーを作成し、共用空間に貼っている。また、個別に作成したものも貼っている。 (外部評価) 窓から山や川を眺めることができ、季節の移り変わりや今日のお天気をいち早く知ることができる。玄関先に、来訪する方への気遣いの言葉を示し、装飾も温かみがあり、掃除もきれいにされていた。メダカや鈴虫を飼ってられる。		もっと昔ながらの背景が共有空間ができるよう考えたい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングとは別に椅子を設ける事により、ちょっとした話を共有空間においてできるよう対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族と相談し、なじみのものなどをもって来ていただくなど快適に過ごせるよう対応している。		
			(外部評価)		
			窓からは外の景色が眺められる。自宅で飼っておられる猫の写真を、壁に飾っておられる方もうかがえた。自宅で使用されていたタンスやポータブルトイレ、テレビも準備されていた。又、自分で折った花や蝶の折り紙を壁に飾っている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			冷暖房に頼りすぎないように、利用者に体感を聞きながら対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			夜間、手すり代わりとなる椅子を設置し、安全に自立したトイレ利用ができるよう工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			一人ひとりの能力に応じ、極力混乱のないようスタッフがサポートしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関先には縁台を設置し、お茶を飲んだりなど団らんできるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃の会話などから、思いを聞き取れるように努力はしているが、希望や意向を充分把握しきれていない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	この時間こそ優先すべき業務と思い大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者同士の人間関係の難しさがあり、個々のペースで暮らせているか難しい場面がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	レクレーションなどでは、生き生きとした表情がみられる場面が多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたいところへは出来るだけ出かけるようにしているが、行きたい時にすぐ対応できないときもある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者から「ここにいたら安心する」という言葉をよく耳にする。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限り、その時の要望に迅速に対応するようにしているが、職員が他の方に手をとられることが多く、対応が遅れる事がある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	日頃から面会が多い。担当職員が主に窓口となり、家族が困っていることなどをお聞きすることが多い。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族の方以外にも、利用者の友人や近所の方もよく訪ねてくれる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ② ② ② ② 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	以前から地域が支えてくれていたため、地域に溶け込む事が元々出来ていたように思 う。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	完全に勤務から離れての休憩時間が取れない事が多い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者同士の間関係がこじれないようにサポートしているが、時として、対応しき れないことがある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほとんどの家族は気付いたことを言ってくれるが、言葉に出る部分がすべてではない と思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

「自由な日々の中で、楽しみ感動を共有し、和やかな生活を支えていきます。」「古き良き昔ながらの、ご近所付合いを大切にしていきます。」とにかく日々の中で様々な疑問が出てきますが、そんな時には、少し立ち止まり、これらの理念を見つめ直すことにしています。また、福祉有償運送、高齢者疑似体験研修の普及に力を入れ、地域力の向上に取り組んでいます。